

# ジュニア 京都観光大使の GO GO 体験レポート

2/14

京都・和の文化体験の日

**参加大使** 小仲美齡さん(京都教育大学附属桃山中学校2年),佐藤正嶺さん(洛南高等学校附属中学校2年),塩山司さん(下鴨中学校2年),牧理歩さん(京都橘中学校2年)

**日** 本文化の真髄ともいえる京都の文化芸術を次の世代に伝えていくため、若い世代が「和の文化」に触れ、また、伝統産業に親しむ機会として初めて開催された「京都・和の文化体験の日」。ジュニア京都観光大使4名も晴れやかな着物姿で参加し、和の文化について理解を深めました。



いとうえ やすこ **井上安寿子さん**(京舞井上流)と片岡愛 **之助さん**(歌舞伎俳優)との対談が行われた祇園甲部歌舞練場に入場されるお客様を、大使たちがお出迎えました。「京都はぐくみ憲章」のパンフレットを手渡しながらかみ顔を挨拶し、「京都には昔から“おもてなし”の文化があったと思った」(小仲さん)と、おもてなしの心を実感したようでした。

**初** めに、井上さんによる京舞が披露され、その美しい舞に観客は見入っていました。次に、バレンタインデーにちなんで井上さんから片岡さんに「お猪口」がプレゼントされるにあたり、小仲・牧大使がお手伝いとして登場。ステージ上の井上さんの元までお猪口を届け、観客の皆様から温かい拍手が送られました。



**対** 談の冒頭、井上さんが「ジュニア京都検定の過去問題を解いてみたけど難しい問題もあったし、大使たちはすごい!」と褒めてくださり、これには大使たちもびっくりしていました。対談は、片岡さんが歌舞伎を始めた小学生の頃の話や、井上さんの京舞のお稽古の話など、終始楽しい雰囲気が進みました。お二人から若い

人たちに向けて、「日本の代表的な民俗衣装でもある着物を着てほしい」「実際に歌舞伎や京舞などを劇場で見て、和の文化に触れてほしい」というお話があり、「私も次世代の人達に和の文化を伝えていきたい」(牧さん)、「難しいイメージの和の文化に触れていきたい」(佐藤さん)という声が聞けました。



**弥** 栄会館ギオンコーナーでは、茶道・箏・華道・京舞の伝統芸能を鑑賞し、続いて八坂倶楽部でお茶席(呈茶)を体験しました。「受け継がれてきた日本文化を世界に発信していきたい」(塩山さん)と話す大使たちは、今日一日で様々な「和の文化」を学び、それらを伝えていくことの大切さを感じました。



今回大使たちは、「京都祇園屋」様にご協力いただき、晴れやかな着物を着て活動することができました。